

障がいがある人もない人も共に

市民みんなで作る条例

「障がいのある人もない人も安心して安全に暮らせる別府市条例」（仮称）の制定に向けて取り組みが進んでいます。
猿渡（えんど）久子市議は、9月議会から毎回の議会での条例制定について質問してきました。

この条例制定は、市民の意見を反映して条例を作ろうという別府市で初めての取り組みです。

別府市障害者自立支援協議会が設置した条例制定作業部会で、条例の骨格について議論されています。お互いに理解を深め権利を守るためには何が必要か、生活環境や就労の問題など、障がいを理由

とする差別をなくすための議論が続けられています。

えんど久子市議は、3月市議会の一般質問で「当事者や関係者ならではの率直な意見を大いに出し合っていたいただき、条例制定に充分に反映させてもらいたい。また、PRに力を入れてもらいたい」と求めました。

意見を充分反映した条例に

市の障害福祉課長は、「作業部会で作っていただく条例の骨格については、市民が互いに支え合い、地域で安心して暮らしていただけるため骨格として大きな期待を

成文化しなければならない責務を覚えている。市報やホームページ、ケーブルテレビなどで、今後再度意見公募をし、さらに効果的な周知を図っていききたい」と答弁しました。



第4回「誰もが安心して安全に暮らせる別府市条例をつくる会」総会。作業部会の経過報告や防災・安全についての講演が行なわれました。

2012. 4. 22.

別府市社会福祉会館にて

日本共産党別府市議団のHPやえんど久子のHP「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。別府市議会のHPでは市議会の録画や議事録が見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.509
2012. 4. 25.

えんど久子市議が質問

児童虐待防止のために

連携を強めるために

えんど久子市議は、子育て支援の充実を一貫して求めてきましたが、3月市議会で児童虐待防止の問題を質問。市役所の関係部署の連携を本気で強化するため、「保健師などを児童家庭課に配置することも必要では」と提言しました。

児童家庭課長は「児童虐待防止対策検証委員会

子どもを守るため相談

えんど市議は、「検証委員会の提言書に『通報することはその家庭にどのような援助ができるのかと問う行為であり、その家庭と子どもを支え家族全体を守ることにつながることを啓発していかなければならない』とあ

の提言を受けこころの専門家と言われる臨床心理士を非常勤で採用する予定。市町村が児童虐待防止に取り組むときに最適な専門職はどのような職種なのか今後検討していきたい」と答弁しました。臨床心理士は5月から非常勤で配置される予定です。

るが、非常に大事。もしかしたらと思ったら通報や相談をしてもらうよう、この観点で呼びかけてもらいたい」と求めました。また、えんど市議は厚生消防委員会でも、家庭への訪問事業の充実を求めました。

安全・安心のために

部活のバスへの補助が実現

今年度より別府商業高校の「安心・安全な学校部活動支援事業費補助金」40万円が予算化されました。片道30キロ以上の公式試合で、運転手さんの人件費の3分の2（上限2万円）が補助されます。

えんど久子市議は、高校野球の交通事故の教訓を活かすべきと、県立高校と同様の補助制度を求めてきましたが、これが実現したものです。えんど市議は、これ以外の練習試合などでも安全性を高めるための努力を求めました。



二輪草